

## 実践

### 1 副田小学校の実践

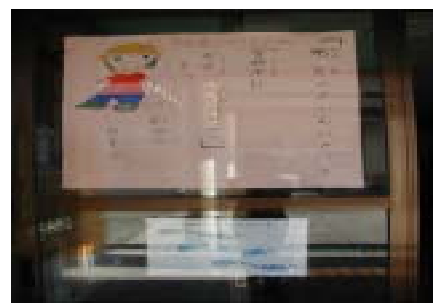
#### (1) これまでの具体的な取組

##### あいさつ

##### ア 児童の取組（児童会での取組）

月ごとのスローガンを決める。

- ・ 学級ごとに話し合い，代表委員会で決める。
- ・ 決まったことを校内に掲示する。



〔月ごとのスローガン掲示〕

（9月）「元気のよいあいさつを学校中にひびかせよう」

（10～12月）「相手の目を見て立ち止まって，大きな声で名前つきあいさつをしよう」

12月生活目標「ていねいな言葉使いをしよう（名前つきあいさつ運動）」の取組

- ・ 学級で具体的実践の話し合いをしたあと，代表委員会で決める。
- ・ 「生活のめあて」のプリントに具体的取組を書いて掲示する。

##### イ 教師の取組

教師側から，あいさつの励行をする。

朝のあいさつ，お客様に対するあいさつ，帰りのあいさつについて繰り返し指導する。

##### ウ PTAの取組

地域や保護者と連携して，「あいさつ運動」を実施する。（毎月1回）

##### 返事

ア 全ての教育活動の中で呼ばれたら，必ずはっきり「はい」と返事をさせる。（適時指導）

イ 必要なことは，はっきりと伝えさせる。

家庭学習の習慣化（学ぶ意欲の育成と学習習慣定着のための取組）

ア 「家庭学習の手引き」を作成し，活用を図る。

「家庭学習の手引き」の配布と指導の充実を図る。

家庭学習のための課題を提示したり，家庭学習時間の目安を提示したりする。

イ 生活記録ノートの記録・点検や課題の的確な点検の実施をする。

生活記録ノート・音読カードを作成し，毎日確実な記録・点検をする。

##### ウ 保護者への啓発

学級便りで授業や子どもたちの様子や一人一人の作品や感想を掲載するなど，保護者に子どもたちの様子を細かに伝えることで家庭学習の啓発につなげていく。

学習習慣定着のために生活習慣・食習慣等を学級PTAや学校保健委員会（すこやか会議）のテーマに掲げ，保護者に情報を提供したり，継続的に話し合ったりしている。

#### (2) 共通理解，共通実践等

「生活リズムアンケート結果」の活用等

ア 1学期の学校保健委員会にて，保護者へ結果並びに課題について報告し，課題解決のための取組を依頼した。

イ 2学期の学校保健委員会に講師を招聘して，調査結果をもとに「子どもの生活リズムと

健康」について講演を実施した。また、講演後、保護者と先生方で少人数グループを作り、フリートークを実施し、課題解決のための方策について語り合った。

ウ ほげんだよりに掲載し、児童・保護者へ啓発した。

エ 9月から毎月「生活リズムチェック週間」を設定し、チェックカードを用いて自己目標を立てさせ、幼稚園と下学年は保護者と共に上学年は自分で生活リズムチェックを行った。



〔学校保健委員会での講演の様子〕



〔少人数グループでのフリートークの様子〕

### (3) P T A や地域への啓発や具体的な取組

	啓発と具体的な取組
P T A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りや学級便りを定期的に発行することにより、学校の取組や児童の学校の様子を知らせ、理解と協力を求めている。</li> <li>親子読書や家庭学習の時間設定など家庭の役割を自覚してもらうよう努めている。</li> <li>教育相談週間（12月）を実施し、個別に話し合っている。</li> <li>学級PTAで生活習慣・学習習慣について、話し合っている。</li> <li>学校保健委員会（すこやか会議）で、生活習慣・食習慣等をテーマに掲げ、保護者と継続的に話し合いを続けている。</li> <li>国語で音読に力を入れ、音読カードに保護者の点検・評価を依頼している。</li> </ul>
地 域	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りや地域評議員会等を通して学校情報を地域へ流すように努めている。</li> <li>11月県民週間で保護者以外の参観を呼びかけている。</li> <li>総合的な学習の時間に地域素材を取り入れたり、地域の人材活用を図ったりしている。</li> <li>ひまわり読書会の方々から年4～5回、読書祭りやなかよし読書（毎月1回第1金曜日）の時間に読み聞かせをしていただいている。</li> </ul>

### (4) 成果と課題

#### 成果

- 教師からの積極的な声かけや指導で、進んであいさつをする児童が増えてきた。
- 返事については、学校生活全体で自分が伝えたいことをはっきり伝えたり、元気のよい返事をしたりすることに取り組み、自分の考えや返事をしっかり伝えられるようになった。

#### 課題

- あいさつや返事の声が小さい児童がいる。また、来校者へのあいさつや校外でのあいさつ等も十分でない児童もいる。今後も家庭と連携した取組を図っていきたい。
- ほぼ家庭学習の習慣は身につけているが、各家庭で内容や時間について差がある。各家庭での見届けや声かけ等、協力に差が見られる。宿題しかない児童も多く、家庭での自主的学習の仕方の指導や家庭への啓発が今後の課題である。